



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 シンワオックス株式会社

コード番号 2654 URL <http://www.shinwa-ox.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 幸延

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 兼 経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,768	12.9	354	314.6	331		323	
23年3月期第2四半期	4,323	46.2	85		104		240	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 310百万円 (%) 23年3月期第2四半期 236百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.31	
23年3月期第2四半期	1.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,320	757	29.6
23年3月期	2,238	447	16.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 685百万円 23年3月期 369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期		0.00			
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,289	14.3	620	75.2	593	608.3	549	80.0	3.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	151,451,750 株	23年3月期	151,451,750 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	11,242,601 株	23年3月期	11,242,601 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	140,209,149 株	23年3月期2Q	151,396,649 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災における原子力発電所事故の影響による電力供給不足等により、一時経済活動は停滞いたしました。電力供給量の回復や節電等の努力により、一部には回復が見られたものの、欧米の財政不安による急激な円高と株安の進行などにより、国内景気と個人消費は先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、安定的な収益を生み出す給食事業に経営資源を集中させ、さらに前期より開始いたしました介護事業を強化し、引き続き「収益力の強化」と「財務体質の健全化」に向け取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,768百万円（前年同四半期比 12.9%減）、営業利益354百万円（前年同四半期比 314.6%増）、経常利益331百万円（前年同四半期は、経常損失104百万円）となり、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、323百万円（前年同四半期は、四半期純損失240百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食・ホテル事業」より「外食事業」に変更しております。以下、前年同期比較については、当該事項を反映した前年同期の数値を用いております。

① 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災の影響による経済の悪化、さらに原子力発電所事故による放射能汚染の問題、また、焼肉店における集団食中毒事件が発生し、生食に対する規制が強化されるなど食肉業界においても重大なニュースが立て続けに発生し、全般的には厳しい状況が続きました。

当社におきましては、牛内蔵肉の販売において焼肉店向けの商品価格の下落等があり、利益に影響を与えました。また、低価格商品が好まれる傾向にあり、豚肉等の取扱いを増やした結果、売上高は増加いたしました。利益については減少いたしました。

現在は、新たな商品のブランド化への取り組みを実施しており、日本のマーケットに見合った商品づくりの基盤強固に向けて努めております。

以上の結果、卸売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、599百万円（前年同四半期比 26.5%増）、営業利益は、13百万円（前年同四半期比 14.1%減）となりました。

② 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX (H. K.) COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗の運営を行っておりますが、不採算店舗の業態変更、優良店のFC参加等を積極的に行い、基盤の強化に努めております。

また、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、国内における外食事業より完全撤退しております。

以上の結果、外食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、堂島ホテル株式会社を連結の範囲から除外したことにより559百万円（前年同四半期比 17.0%減）となり、営業利益は、OX (H. K.) COMPANY LIMITEDの店舗業態変更による改装費用等の一時的な発生により16百万円（前年同四半期比 55.9%減）となり、売上高及び営業利益は減少いたしました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、計画と乖離することなく、売上高、営業利益とともに受託施設についても堅調な推移を見せております。

今後におきましても、堅実に増収増益を見込める事業として基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、給食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,465百万円（前年同四半期比 11.1%増）、営業利益は、370百万円（前年同四半期比 11.2%増）となりました。

④ 介護事業

介護事業におきましては、平成22年5月より、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居幹旋業務を行っており、売上高、営業利益ともに堅調な推移を見せております。

以上の結果、介護事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、144百万円（前年同四半期比 77.2%増）、営業利益は、106百万円（前年同四半期比 55.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が43百万円、商品が49百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が135百万円減少したことによるものであります。固定負債は54百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が18百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は757百万円となり、前連結会計年度末に比べ310百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益323百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.6%（前連結会計年度末は16.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、401百万円となり、前連結会計年度末より43百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、234百万円（前年同四半期は256百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益331百万円、減価償却費27百万円、たな卸資産の増加53百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、39百万円（前年同四半期は4百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、136百万円（前年同四半期は392百万円の獲得）となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月9日に発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,925	401,036
受取手形及び売掛金	643,019	666,969
商品	109,977	159,540
貯蔵品	9,127	10,777
その他	53,204	34,456
貸倒引当金	△20,027	△21,631
流動資産合計	1,153,226	1,251,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	237,002	241,673
土地	263,240	263,240
その他(純額)	21,373	25,600
有形固定資産合計	521,616	530,513
無形固定資産		
のれん	437,786	422,964
その他	2,778	2,395
無形固定資産合計	440,565	425,360
投資その他の資産		
その他	425,772	416,672
貸倒引当金	△310,549	△303,635
投資その他の資産合計	115,222	113,037
固定資産合計	1,077,403	1,068,911
繰延資産	7,539	—
資産合計	2,238,169	2,320,059

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	236,682	250,045
短期借入金	926,208	791,208
未払金	297,719	290,185
未払法人税等	34,819	17,388
賞与引当金	24,902	36,029
返品調整引当金	4,244	4,769
その他	191,023	118,626
流動負債合計	1,715,599	1,508,253
固定負債		
長期借入金	16,367	13,177
長期未払金	59,107	41,107
固定負債合計	75,474	54,285
負債合計	1,791,074	1,562,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△4,322,898	△3,999,436
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	332,414	655,876
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,073	29,958
その他の包括利益累計額合計	37,073	29,958
少数株主持分	77,606	71,685
純資産合計	447,094	757,521
負債純資産合計	2,238,169	2,320,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,323,888	3,768,236
売上原価	2,593,743	2,591,523
売上総利益	1,730,145	1,176,712
返品調整引当金戻入額	—	4,244
返品調整引当金繰入額	407	4,769
差引売上総利益	1,729,737	1,176,187
販売費及び一般管理費	1,644,152	821,367
営業利益	85,585	354,819
営業外収益		
受取利息	556	95
受取配当金	38	—
貸倒引当金戻入額	—	4,739
その他	6,024	1,183
営業外収益合計	6,619	6,018
営業外費用		
支払利息	124,652	9,770
株式交付費償却	49,183	7,539
為替差損	14,148	9,529
その他	9,207	2,533
営業外費用合計	197,192	29,372
経常利益又は経常損失(△)	△104,987	331,466
特別損失		
固定資産売却損	—	240
店舗閉鎖損失	70,522	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,096	—
その他	15,320	—
特別損失合計	112,939	240
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217,927	331,225
法人税、住民税及び事業税	6,051	6,849
法人税等合計	6,051	6,849
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△223,978	324,375
少数株主利益	16,400	913
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△240,379	323,462

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△223,978	324,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	386	—
為替換算調整勘定	△13,017	△13,949
その他の包括利益合計	△12,630	△13,949
四半期包括利益	△236,609	310,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△246,631	316,348
少数株主に係る四半期包括利益	10,021	△5,921

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217,927	331,225
減価償却費	58,960	27,274
のれん償却額	14,821	14,821
返品調整引当金の増減額(△は減少)	407	525
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,154	△5,309
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,556	11,375
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	7,276	—
受取利息及び受取配当金	△595	△95
支払利息	124,652	9,770
株式交付費償却	49,183	7,539
為替差損益(△は益)	14,319	10,282
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,096	—
店舗閉鎖損失	27,023	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	23
無形固定資産売却損益(△は益)	—	217
有形固定資産除却損	7,068	—
投資有価証券売却損益(△は益)	975	—
売上債権の増減額(△は増加)	△56,578	△31,144
その他の資産の増減額(△は増加)	86,182	31,495
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,872	△53,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,306	8,617
その他の負債の増減額(△は減少)	△190,428	△60,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	△62,580	△8,700
その他	49	215
小計	△147,814	294,601
利息及び配当金の受取額	231	95
利息の支払額	△95,341	△46,722
法人税等の支払額	△13,299	△13,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	△256,224	234,071

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,700	△42,139
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の売却による収入	221	—
投資有価証券の取得による支出	△199	—
投資有価証券の売却による収入	8,970	—
出資金の売却による収入	30	—
差入保証金の差入による支出	△5,280	△147
差入保証金の回収による収入	58,296	1,263
預り保証金の返還による支出	△2,100	—
預り保証金の受入による収入	20	—
定期預金の払戻による収入	27,448	—
貸付金の回収による収入	3,271	1,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,977	△39,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	471,617	△135,000
長期借入金の返済による支出	△21,427	△1,872
社債の償還による支出	△57,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	392,690	△136,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,941	△14,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126,502	43,110
現金及び現金同等物の期首残高	260,640	357,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	387,143	401,036

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	ホテル事業	給食事業	介護事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	473,757	673,724	876,341	2,218,584	81,480	4,323,888	—	4,323,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,992	379	78	—	—	5,449	△5,449	—
計	478,750	674,103	876,420	2,218,584	81,480	4,329,338	△5,449	4,323,888
セグメント利益又は損 失(△)	16,153	38,059	△180,393	333,311	68,860	275,992	△190,406	85,585

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,992
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	△12,180
全社費用(注)	△178,226
四半期連結損益計算書の営業利益	85,585

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	—	3,768,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	—	3,768,236
セグメント利益	13,883	16,769	370,492	106,974	508,118	△153,299	354,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	508,118
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	△12,180
全社費用（注）	△141,118
四半期連結損益計算書の営業利益	354,819

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれておりました高齢者介護施設等の紹介斡旋業務に係る事業を分離独立し、「介護事業」を新設いたしました。

また、第1四半期連結累計期間において、従来「外食・ホテル事業」と称していた事業は、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食事業」に変更しております。

これにより、従来「卸売事業」、「外食・ホテル事業」及び「給食事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、これを「卸売事業」、「外食事業」、「給食事業」及び「介護事業」の4つに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。